

非公式

発行：ののうち誠後援会
〒699-0108 松江市東出雲町出雲郷1670
電話・FAX 0852-52-3117
Eメール nonouchi@mable.ne.jp

ブログで日々の活動を紹介しています。フェイスブックもやっています。
<http://www.mable.ne.jp/~nonouchi/>

後援会だより—April

発行日:2014年4月24日

ののうち
ののまこと

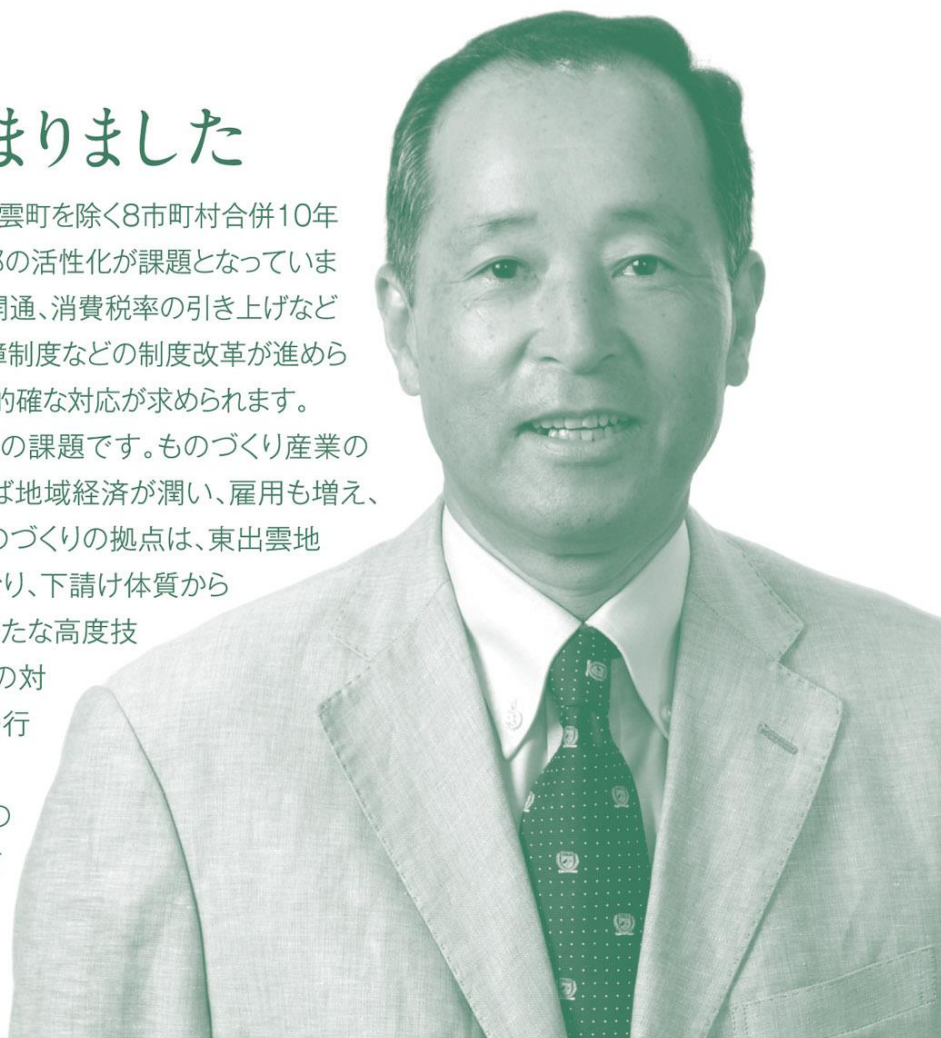
VOL
11

平成26年度が始まりました

平成26年度が始まりました。松江市では、東出雲町を除く8市町村合併10年を迎えて一層の一体感の醸成や、中心部・周辺部の活性化が課題となっています。また、中国横断自動車道尾道松江線の全面開通、消費税率の引き上げなど産業経済に関連する動きや、都市制度、社会保障制度などの制度改革が進められるなど、本市を取り巻く情勢の変化に即して的確な対応が求められます。

一方、民力による地域産業の活性化は喫緊の課題です。ものづくり産業の振興はまちの基盤であり、企業が活性化すれば地域経済が潤い、雇用も増え、定住人口の拡大に貢献できます。松江市のものづくりの拠点は、東出雲地域、馬淵工業団地、矢田工業団地に集積しており、下請け体質からの脱却を目指すとともに、独自製品の開発や新たな高度技術による取引先の拡大が課題となっておりその対策が求められています。また、農業ではTPPの行方にも目が離せません。

野々内は、地方交付税の減少や社会保障費の伸びなどに象徴される厳しい財政状況のなか、市民の福祉の増進や地域経済の発展のため、しっかりとチェックするとともに働いてまいります。



2月松江市議会

2月定例会市議会は、2月26日から3月26日までの29日間の会期で開会されました。

提案された平成26年度一般会計当初予算案は、総額1004億7800万円で当初予算案としては初めて1000億円を超えました。昨年の市長選後の6月補正後と比べ3.1%増で、新総合体育館着工や

主要観光地・市施設などに無料公衆無線LAN整備、消費税引き上げによって支給される臨時福祉給付金、小泉八雲記念館改修などを計上。条例では、歴史まちづくり部を新設するための条例改正やいじめ問題対策連絡協議会等設置条例の制定、空家の適正な管理を強化する条例の改正などが上程され、上程議案110件は全て原案通り議決しました。

また、議員提出議案として、簡易水道と上水道の統合後の地方公営企業繰出金の充実に関する意見書を全会一致で可決し、請願2件(特定秘密保護法の廃止を求めること、高齢者の負担増と保険給付の削減をめざす介護保険の見直しに反対する意見書の提出を求めること)は不採択となりました。(予算金額や提出議案の詳細は市ホームページや市報等をご覧ください)

一般質問

野々内は、2月定例市議会でも連続10回目の一般質問を行ないました。

Q 有害鳥獣被害 対策について

有害鳥獣を農家で捕獲する積極的な働きかけが必要ではないか。

大野地区と東出雲地区の議会報告会でシカやイノシシなどの鳥獣被害が地域課題として出されました。猟友会依存から一般住民も協働して有害鳥獣を駆除する仕組みを作る必要があると考えます。

矢野産業観光部長 本市の有害鳥獣の捕獲は年々増加傾向にあり、被害地域も広域化し、二方捕獲を委託している松江市猟友会は先細りしている状況です。



ヌートリアも外来有害鳥獣です

狩猟免許所持者の新規確保も必要であり、引き続き取得促進の取



り組みをしたいと思っています。

住民参加の鳥獣被害対策の強化、ワナの免許取得者の確保と支援、オリやワナの購入補助については、松江市鳥獣被害防止対策協議会で有効な対策を総合的に検討し、できることから早期に対策を実施したいと考えています。

有害鳥獣被害対策の本市の実情と今後の取り組み、また国の施策反映(市町村が主体となり消防団組織がモデルの鳥獣被害対策実施隊)についてどう考えるか。

矢野産業観光部長 防護柵設置に対する補助金交付、松江市猟友会による有害鳥獣の駆除の実施を継続しながら、松江市有害鳥獣被害対策協議会の構成団体とも連携していきます。鳥獣被害対策実施

隊の設置等についても、この対策協議会で検討します。

有害鳥獣の駆除から加工・販売まで一貫した取り組みが必要だと考える。

矢野産業観光部長 捕獲頭数の安定確保など困難な面もあり、八雲猪肉生産組合や県内の同様の処理施設の状況を参考に、資源の有効活用について研究したいと考えます。

Q 児童虐待について

児童虐待を防ぐため、市内各所に定期的な子ども居場所がないか。

田中健康福祉部長 虐待児童に限定した居場所づくりは、子供や保護者の心理的問題及びプライバシーの問題があり、難しい事だと感じています。今後は全国の自治体での実施状況等について情報収集したいと思っています。市ではカウンセリングなど各種の取り組みを実施しています。

虐待を未然に防ぐ相談事業に取り組み考えはないか。

清水教育長 学校では、教職員に

よる定期的な教育相談やスクールカウンセラーによるカウンセリングなどを実施しています。

Q 子育て支援について

国の子育て支援の財源不足についての影響について国の「子ども子育て会議」の基準検討部会で、新たな子育て支援制度を実現するために4千億円余の確保のめどが立っていないとの新聞報道への影響をどう考えていますか。

松浦市長 事実になることを大変危惧をしています。保育士の確保等と保育の質の向上がこれからの課題であり、必要に応じて国に対して要請をしたいと思っています。

子育て支援のホームページの充実について問う。

「松江市子育て支援ツイッター」は一方通行の仕組みであり、不十分と言わざるをえません。廃止された「東出雲子育てほっとネット」は、呉市をヒントに作った暖かいページであったと思っています。子育て支援に優しい取り組みを求めます。

田中健康福祉部長 松江市子育て

ツイッターは、ご指摘のように双方向のやりとりや、利用者同士の情報交換ができない一方通行の仕組みです。今後、子ども子育て支援会議のニーズ調査を踏まえ、より多くの方が子育て支援に関する情報を入力できるよう、電子媒体での双方向の情報交換が可能になるシステムについても検討したいと考えています。

保育所の待機児童対策について問う。

昨年4月の待機児童は解消されましたが、この4月入所の状況はいかがでしょうか。また、急増する0歳児入所の対策と支援はどう考えているか、そして、年度途中の待機児童対策をお聞かせください。

田中健康福祉部長 4月1日の待機児童はゼロ人の見込みです。急増する0歳児入所の対策では、待機児童数は年度末に向けて例年増える傾向で、ワークライフ・バランスと家庭での保育の



年度中途の待機児童0が望まれます

推進を図りたいと考えています。年度中途の対応では、深刻な保育所不足により受け入

れが難しい状況で、予約枠制度での取り扱いも行っていきます。

Q 介護予防事業の推進について

介護予防モデル事業「買い物物支援助介 介護予防事業・スーパーDay 貯筋事業」の継続と拡大を望む。

田中健康福祉部長 平成25年度は市内2カ所の商業施設で実施し、26年度は4カ所80人に拡大を予定しています。また、公民館での体操教室、からだ元氣塾やなごやか寄り合い事業なども、充実していきたいと考えています。更に(仮称)松江市高齢者生きがい事業を創設いたします。

Q 観光対策について

観光客など本市への来訪者から見た観光課題として、駐車場の量が少なく案内も不十分、車椅子用トイレの位置や車椅子の歩道利用での段差や勾配など整備不十分も挙げられています。また、土・日・祝祭日の休み店舗が多いし、接客では会話が少ないということであり、どう改善していくのか伺います。イベ



観光対策の充実が求められています

ントについても、年間当初計画以外のイベントが多く、情報発信に工夫が必要だという声があります。

錦織観光事業部長 駐車場については、今後整備のWiFi環境を活用した駐車場案内とリアルタイムでの空き情報の提供を検討するなど、既存駐車場の有効活用を図りたいと考えています。車いす用トイレでは、状況を確認しつつ情報提供手段の工夫を考えています。歩道の段差は、国基準より緩やかな2cmとし、セミフラット化等に努めていきたいと考えています。

また、日曜日、祝祭日対応として、開店飲食店の紹介マップで日曜営業の増加に繋がっていけばと考えています。接客態度の向上では、講座やゼミなどでおもてなし度の向上に努めて

います。観光イベントでは、四季に縁雫の梅雨を合わせた5つの期間を設定して、PRをしています。今後もスピーディーに提供する事でイベントの周知に努めたいと考えています。

おもてなし日本としての松江市の心意気をお尋ねいたします。

松浦市長 市民挙げて観光客の皆さんに対しておもてなしをする気持ちが一番大事だと思いますし、そのことが観光客をまた増やしていくことに繋がっていくと思いますので、松江を挙げておもてなしの機運の醸成を図っていききたいと思っています

(一般質問とその回答の全文はホームページのブログで紹介しています)

6月議会予定

- 11日(水) 本会議
- 16日(月) 一般質問
- 17日(火) 一般質問
- 18日(水) 一般質問・議案質疑・委員会付託
- 19日(木) 総務委員会
- 20日(金) 教育民生委員会
- 23日(月) 経済委員会
- 23日(月) 建設環境委員会
- 24日(火)
- 27日(金) 本会議

最近の活動から

議会報告会

松江市議会では、1月から2月にかけて「議会報告会」を市内27箇所で開催しました。市議会議員33人が6班を編成。野々内が班長を務める第1班は、5箇所を受け持ちました。

東出雲会場は他班の担当でしたが、野々内はオブザーバー出席しました。質疑応答では、治水(高潮と洪水による浸水対策)、消防所署再編に伴う町内緊急車両の通行の円滑化、揖屋馬潟線の全面早期開通、財政健全化で松江駅前地下駐車場などの無駄のチェックと住民生活に直結する支所機能の充実を、都市計画線引き廃止問題、イノシシ被害と対策について、道路を覆う雪害による竹の伐採について、雇用促進住宅の市の買い上げを急ぐことなどについて意見が出されました。これらの貴重な意見は、地域課題として改善や対策を市当局に求めています。



東出雲会場での議会報告会

議会広報等特別委員会の行政視察

1月29日、野々内が委員長を務める議会広報等特別委員会の行政視察で、福岡県古賀市を訪れました。古賀市の議会だよりは、地方議会議員向けの専門誌「地方議会人」に2度紹介されるほど内容が充実しています。視察研修には、議長や議会報編集特別委員会委員に出席していただき、議員自らが熱意をもって取り組む状況を熱心に研修しました。



古賀市役所での視察研修

松江城を国宝にする議員の取り組み

3月27日、松江城を国宝にする松江市議会議員連盟(全議員が加盟)では、松江城天守で研修会を開きました。

26議員が参加した研修は、松江城国宝化推進室の卜部室長を講師に松江城に登閣し、姫路城と同様の構造上の特徴や一部の部材が富田城から運ばれた物があること、天守祈禱札の打付け場所が確認されたことなど、これまでに明らかになった事項について、現場で説明を受けました。

現在、重要文化財の松江城。国宝にするための条件は揃っていると思われまます。国宝化への世論の高まりと、更に詳しい調査が望まれます。



天守祈禱札の打付け場所

後援会のお知らせ

ののうち誠後援会にご加入いただき、一緒にまちづくりをしていきましょう。この度後援会だよりvol.11を発行いたしましたので、ご高覧いただきますようお願い申し上げます。

◆後援会事務局◆

〒699-0108 松江市東出雲町出雲郷1670
TEL・FAX / 0852-52-3117
Eメール nonouchi@mable.ne.jp
<http://www.mable.ne.jp/~nonouchi/>



ホームページを開設しています。
ブログもやっています。
お気軽にケイタイからご覧いただけます。

ののうち誠 プロフィール

昭和25年11月26日生まれ、63歳。
住所 / 松江市東出雲町出雲郷1670
電話 / 0852-52-3117 (FAX兼用)

【学 歴】

昭和44年3月 / 島根県立松江農林高等学校卒業

【職 歴】

昭和44年4月～平成23年3月 / 東出雲町職員(企画財政課長、保健福祉課長、教育委員会教育次長、総務課長、参事)

平成25年4月 / 松江市議会議員選挙2期目当選、教育民生委員会委員長、議会広報等特別委員会委員長、総合交通対策特別委員会委員

【活動歴】

出雲郷公民館主事(11年間)、出雲郷公民館運営委員、体育協会出雲郷支部事務局、消防団第三分団部長、出雲郷小学校PTA会長(3年間)、PTA連絡協議会会長、松江市農業委員、体育協会出雲郷副支部長、MJG島根硬式野球クラブ顧問